

海外安全対策情報 平成26年度第1四半期

1. 社会・治安情勢

オンタリオ州の治安情勢は、全般的に安定しています。また、トロント市は北米都市の中でも殺人などの凶悪犯罪が少ない安全な都市と知られています。

しかしながら、犯罪発生率は日本の約3倍と言われており、日本と同じ感覚では危険です。発砲事件や性的暴行事件は依然として数多く発生しており、当地では日本と違い多くの銃器が市中にも出回っていることを念頭に行動する心掛けが必要です。

2. 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) トロント市警の発表統計(6月30日付)によると、トロント市警管轄内で2014年に発生した犯罪件数は、前年同時期に比べ、殺人(犠牲者)で7名減少して22名(24%減)となっている他、性的暴行688件(5%減)、暴行6,645件(9%減)、窃盗1,498件(12%減)、建造物侵入3,271件(18%増)、自動車盗1,562件(2%増)等と減少傾向(全体で2%減)にあります。

(2) 同統計によると、全体的に犯罪件数は減少していますが、殺人の内訳のなかで発砲によるものが約50%と半数近くを占めています。トロントでは、日本に比べ、市中に出回っている銃器は多く、トロント市警は、発砲事件が麻薬の流通や密売に絡む組織犯罪と密接に関わっている場合が多いと指摘しています。

3. テロ・爆弾事件等の情勢

日本人・日本権益に対する具体的な脅威情報はなく、オンタリオ州を直接標的とする具体的な情報も把握されていません。

しかしながら、2013年1月におこったアルジェリア人質事件のテロリストの2名は、オンタリオ州ロンドン市出身の青年でした。移民第二、第三世代によるいわゆる「ホームグロウン・テロ」に対する危機感が一層高まっています。

4. 対日感情・日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は、基本的に良好です。

5. 日本人安全対策のための注意喚起

当館ホームページ「トロント治安情報」に治安情報を掲載し、安全上の情報提供を行っています。